

本研修の「講義動画視聴」部分は、令和4年度と同内容です。
ご確認の上、お申込みください。

(2023.8.31)

東京都委託事業
福祉技術等向上研修

令和5年度 介護職員スキルアップ研修【実践編】

主催：社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室

本研修の目的

高齢者介護において、その人らしい暮らしを支えるためには介護職や医療職との連携は不可欠です。日常生活を支援する介護職員には、高齢者の心身の変化にいち早く気づき適切に医療職につなげる役割が期待されます。

そこで、本研修では、職場内の職員育成にあたる中堅職員が、高齢者の医療的知識や医療職との連携のポイントについて実践的に学ぶことで、職場全体における介護の質を高めることをめざします。

1 対象

都内に所在する以下(①～⑮)の介護保険事業所において、A・B・Cの条件を全て満たした方

- ① 訪問介護事業所(夜間対応型含)
- ② 訪問入浴介護事業所
- ③ 通所介護事業所(認知症対応型、地域密着型含)
- ④ 通所リハビリテーション事業所
- ⑤ 短期入所生活介護事業所
- ⑥ 短期入所療養介護事業所
- ⑦ 認知症対応型共同生活介護事業所
- ⑧ 小規模多機能型居宅介護事業所
- ⑨ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
- ⑩ 特定施設入居者生活介護事業所
(包括型、地域密着型含。ケアハウス、有料老人ホーム 及びサービス付高齢者向け住宅)
- ⑪ 介護老人福祉施設(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所含)
- ⑫ 介護老人保健施設 ⑬ 介護療養型医療施設 ⑭ 介護医療院
- ⑮ 看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)

A：介護職員として実務に従事していること

B：介護福祉士等の資格を有すること

C：研修受講後に事業所内での伝達研修を行えること

2 研修受講の流れ ※全課程、参加することを前提にお申込みください

課程	科目・内容等	日時・会場等	方法
1	講義動画 視聴	①高齢者の日常生活における介護の気づき ②高齢者の日常生活を支える介護における気づき (実践編) 〔配信期間〕 令和5年11月7日(火)10:00から 11月21日(火)17:00まで	収録型WEB 研修
2	レポート 入力	視聴した講義に関するレ ポート作成 〔締切日〕令和5年11月21日(火) ※未提出の方は「3 講義・演習」に参加できません。	Google フォーム
3	講義・演習	③医療介入への気づきと 状態の観察とその対応 第1回(定員75名) 令和5年12月1日(金)13:30~16:00	Zoomによ るライブ型 WEB研修
		第2回(定員75名) 令和5年12月14日(木)13:30~16:00	
※第1回・第2回の内容は同じです。			
4	伝達研修 実施	各事業所内で研修内容を 伝達する研修を実施 演習終了後~令和6年1月末までに実施	各事業所が 定めた方法
5	伝達研修 報告入力	伝達研修の実施状況を 報告 〔締切日〕令和6年2月1日(木)	Google フォーム

3 内 容

	科目名 (時間)	内容	講師
①	高齢者の日常生活における介護の気づき (90分)	脱水や低栄養状態、誤嚥性肺炎など、高齢者に多い症例を出しながら、介護職員として医療知識の有無が高齢者の生活の質にどのような影響を与えるかを考え、高齢者自身がその人らしく暮らすために必要な医療知識を学ぶ。	医療法人社団つくし会 理事長 新田 國夫 氏
②	高齢者の日常生活を支える介護における気づき (実践編) (70分)	医療的知識に基づく高齢者の心身の変化に対する気づきの幅を広げ、利用者一人ひとりに即したケアを行うために必要な視点を学ぶ。	いきいき訪問看護ステーション 宮近 郁子 氏
③	医療介入への気づきと状態の観察とその対応(130分)	利用者の日々の変化に医療的ニーズがあることに気づき、観察の視点や利用者の健康状態の確認方法について学ぶ。	社会福祉法人武蔵野療園 法人本部事務局 研修室長 後藤 いづみ 氏

4 受講料 無 料

5 申込締切日 令和5年10月19日(木) ※ただし、定員になり次第締め切ります。

6 申込方法

- ① 各施設・事業所ごとに発行されている ID・パスワードで「けんとくん」にログインし、受講申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。
- ② 研修のお申込み状況は、「けんとくん」ログイン後のマイページからご確認いただけます。
- ③ 「けんとくん」に団体登録がお済みでない法人・事業所は下記の URL にアクセスし、「新規団体登録」をお願いします。ID、パスワードが発行されるまで、2~3 営業日かかる場合があります。申込締切日を勘案のうえ、手続きをお願いします。

【新規団体登録 URL】 <https://www.kentokun.jp/>

※申込にあたっての留意点

- ① 上記「1 対象」をよくご確認ください。
- ② 1名で複数の回に申し込むことはできません。
- ③ 複数人分の受講申込みをしていただく際には、申込者全員分のお手続きが必要となります。

7 受講決定・研修資料について

- ① 受講決定通知・動画視聴パスワードは10月26日(木)以降、受講申込み時の設問にてご入力いただいたメールアドレス宛に「受講決定メール」でお送りします(10月30日(月)までに届かない場合は、お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください)。
- ② 受講決定後、申込者が受講できなくなった場合は同じ事業所の別の職員(ただし、上記A・B・Cの条件を全て満たした方)が受講することができますが、必ず事前にご連絡ください。
- ③ 資料について
 - 講義動画視聴(収録型WEB研修)資料:11月7日(火)以降、「けんとくん」の動画視聴ページより、「受講決定メール」に記載のパスワードを入力していただくことでダウンロードできます。
 - 講義・演習(ライブ型WEB研修)資料:研修日の1週間前頃にZoomのURLとともにメールにてお送りします。

8 「講義動画視聴」(収録型WEB研修)について

以下の事項を必ずご確認の上、お申込みください。受講申込みいただいた場合、下記の項目に同意いただけたものとみなしますので、予めご了承ください。

①受講申込み手続き前に、東社協研修受付システム「けんとかん」から「収録型WEB研修 特設サイト」で、動画の視聴環境の確認をしてください。

【収録型WEB研修 特設サイト URL】 <https://www.tkensyu.jp/instructions>

②禁止事項

○講座（研修動画）の無断複製（録音、録画、キャプチャー等）及び他のWEBサイトや著作物等への転載等を固く禁じます。

○視聴するために使用する URL・パスワード等は、本講座受講者のみ利用可能です。お申込みされていない方との共有は固く禁じます。

③免責・注意事項

○ご利用のインターネット回線の状況や視聴側のパソコン環境等により、映像や音声途切れる、または停止するなど正常に視聴できないことがあります。受講者の視聴機器、通信環境、ソフトウェア、その他の利用に関わる一切について本会は責任を負いません。

○スマートフォン等による視聴は、契約されている通信事業者のパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合がありますので特にご注意ください。

9 伝達研修の実施及び報告について

① 伝達研修について

本研修の目的をふまえて、受講者は研修受講後に各事業所において、事業所内の職員を対象として本研修内容に関する「伝達研修」を実施することを受講条件としています。

② 研修受講後から令和6年1月末日までの間に「伝達研修」を実施していただきます。研修方法等は各事業所の実情に応じた効果的な方法で実施してください。

③ 「伝達研修報告」の入力について

上記①の伝達研修を実施後、Google フォームに入力する方法で報告をしてください。

・ Google フォームのURLは、研修受講後にご案内いたします。

・ 「伝達研修報告」入力の締切りは、令和6年2月1日（木）です。

♪昨年度の受講者の声♪



気づきの根拠を広げるために経験のみならず幅広い知識が必要だと改めて気づかされました。介護は誰でもできると思われがちですが常に命と向きあい緊張の連続です。今回の研修で自分が現状に甘んじていたり視野が狭かったと思いました。もっと勉強する気になりました。

具体的に気づき観察することがいかに大切かということを感じました。日々接する利用者様達は、毎日歳を重ねて認知症も進み、なかなか自分ではっきり訴えることが難しくなっていきますが、それぞれのケアの中で五感を使って頑張りたいと思います。先生のパワフルなお話にも勇気づけられました。



【お問合せ先】

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室（湯沢・高柳・村上）

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-1-6 東京都社会福祉保健医療研修センター1階

TEL：03-5800-3335 東社協研修受付システム「けんとかん」 <https://www.kentokun.jp/>